

資料館 だより

2026.9 VOL.6

【編集・発行】

周南市民俗資料館

周南市中囃町 15-22

TEL 0834-33-8334

資料館 HP



今回のテーマ 福川の農業^{のうぎょう}



福川の人たちは、海をせき止め、農業ができる土地(田んぼ)を造りました。

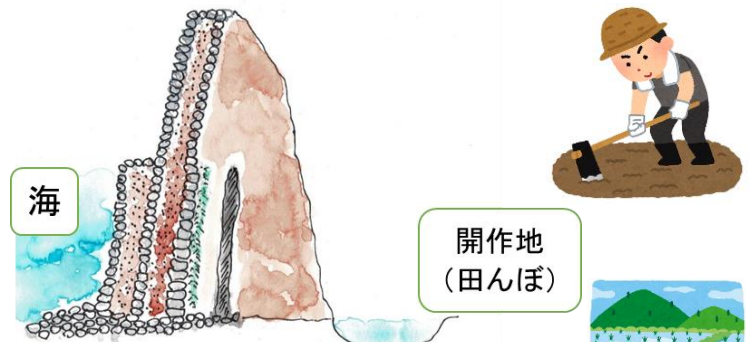
これを干拓^{かんたく}といいます。今号では、福川でおこなわれた農業(干拓事業)について紹介します。

～(1)海をせき止めて、田んぼをつくった理由～

福川地域一帯の海岸は浅いので、これを水田(お米やレンコンをつくる田んぼ)にしたり、塩田(塩をつくる田んぼ)にしたりすることに向いていました。

～(2)どうやって海をせき止めたの?～

福川の人たちは、土手をつくって、海をせき止めて、土手の内側に田んぼをつくりました!土手は、海の波に負けないように、頑丈につくられました。こうしてつくられた田んぼを、開作地^{かいさくち}といいます。



▲福川で海をせき止めるためにつくられた土手

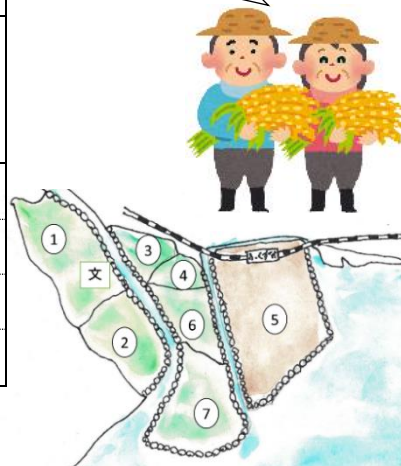
～(3)福川地域の干拓の歴史とお米の生産量～

福川の開作地のほとんどが、地元の有力者たちが藩の許可を受け、自力で開作したものです。福川の人たちの努力の結果、生まれた開作地と言えます。

寛永9年(1632)の福川村室尾開作以後、明治元年(1868)までの約200年あまりの間に干拓された開作地は13件に及び、人工的に作られた海岸線はしだいに沖に広がっていきました。

		お米の収穫量	
年号		昔の単位(石)	今の単位(トン)
干拓前	寛永2年(1625年)	1004	151
干拓	慶安4年(1651年)	1568	235
	延享・寛延年中 ^{えんきょう かんえん}	2004	301
	弘化2年(1845年) ^{こうか}	2266	340
後	明治3年(1870年) ^{めいじ}	2630	395

収穫できるお米も
どんどん増えたよ! ✨



1石(いっこく)は、約150kg!

	主な開作の名前	完成年
①	御姫開作(※)	1672年
②	室尾新開作	1780年
③	風呂尻開作	1817年
④	三角開作	不明
⑤	福川浦開作(塩田)	1832年
⑥	西柵開作	1834年
⑦	柏屋開作	1884年
文	福川南小学校	1980年

※御姫開作に含まれる開作

- ・羽島開作
- ・三島開作
- ・かせ河原開作
- ・中囃開作

【周南市民俗資料館】 〒746-0052 周南市中囃町 15-22

遊びにきてね

○ 開館日時 月・水・金・第1, 第3土曜日(※祝日・年末年始を除く) 9:30~16:30

○ その他 入館料無料、駐車場有(15台程度)

